

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年10月7日

「膠原病の要素をもつ特発性間質性肺炎(IPAF)の治療の検討(UIP pattern に注目)」に関する臨床研究を実施しています。

公立陶生病院医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	929
研究課題名	膠原病の要素をもつ特発性間質性肺炎(IPAF)の治療の検討 (UIP pattern に注目した検討)
所属(診療科等)	呼吸器・アレルギー疾患内科
研究責任者(職名)	山野泰彦(部長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年12月31日
研究の意義、目的	病理学的に証明された IPAF-UIP に対する初期治療の効果、有害事象について抗炎症薬と抗線維化薬の2群に分け比較し、適切な初期治療を検討する。
対象となる患者さん	公立陶生病院で 2008.1-2020.4 までの期間で間質性肺炎の精査目的に外科的肺生検(SLB)を施行した症例のうち、IPAF-UIP の基準を満たす患者。
利用する診療記録／検体	患者背景、喫煙歴、粉塵曝露歴、併存疾患、呼吸機能、血液検査所見、臨床経過、画像情報(胸部レントゲン画像、CT 画像)、病理情報(肺組織)をデータとしてまとめる。
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	なし
研究方法	初期治療毎(抗炎症治療群、抗線維化群)の治療効果・有害事象・予後を後ろ向きに検討する。
研究代表者	公立陶生病院 山野泰彦
問い合わせ先	公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 山野泰彦 電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。